

SAPIX	4年							
	算数							
学習内容	冬期講習4回 場合の数 冬期講習5回 立体図形 冬期講習6回 総合（01～05） 34回 総合（30～33） 35回 文章題 36回 平面図形							
家庭学習ポイント	冬期講習会の後半は4回「場合の数」、5回「立体図形」、6回「総合（01～05）」となります。冬期講習が終わり再びデイリーが始まると、34回「総合(30～33)」35回「文章題」36回「平面図形」が範囲となります。「総合」で扱うのは、速さの三要素を利用した問題の復習など。今一度単位変換を含め、「単位時間あたり進む距離＝速さ」ということが腑に落ちているか、復習を通して確認しましょう。「はじき（速さ×時間＝距離）」といった機械的なあてはめ作業に頼らず、三公式を当たり前に使いこなすことが重要です。35回「文章題」はつるかめ算や和差算、集合や公倍数の概念を利用した問題など範囲が多岐に亘ります。難易度の高い問題は多くありませんが、分野が多岐に亘るため、忘れていた解法は何か、しっかり把握して覚え直す必要があります。特に出来の悪かった範囲は、以前のテキストなどを解き直してみると良いでしょう。36回「平面図形」は角度と図形の面積を求める問題が中心です。単に公式を丸覚えするのではなく、どうしてそうだといえるのか、という「答えを導くプロセス」を説明できるようにしておくことが大切です。							
課題の把握と解決策	チェック1	冬休み、計画通りに時間を使うことができますか？						チェック
	解決策	何ができたか、何ができなかったかを総括しておくことも大切です						□
	チェック2	「速さ＝単位時間あたりに進む距離」が腑に落ちていますか？						チェック
	解決策	上記がしっかり腑に落ちていれば「は×じ＝き」といった丸暗記は必要なくなります						□
	チェック3	速さの単位換算が正確にできていますか？						チェック
	解決策	「時速・分速・秒速」の単位だけでなく「km・m」の単位にも気をつけて換算しましょう						□
	チェック4	「〇〇算」という条件が与えられなくても、文章を読んで解法を導き出せていますか？						チェック
	解決策	実力テストで使える状態にするには、自分で文章を読んで判断する必要があります						□
	チェック5	等積変形・等積移動を使いこなせていますか？						チェック
	解決策	「同じに見える」ではなく、なぜ等しくなるのか説明できるようにしておくことが大切です						□
SAPIX	4年							
	国語							
学習内容	冬期講習で4回 物語文 冬期講習5回 物語文 冬期講習6回 説明文 34回 コトノハ／かけがえのない自然 物語文 35回 コトノハ／雪遊び 物語文 36回 知の冒険／とどけ、言葉たち！ 物語文							
家庭学習ポイント	A授業では敬語の種類とその働き、意味について学習します。敬語の知識については、敬語そのもののについて、その原理・原則を理解していないと、単なる暗記に偏ってしまいます。そうすると正しい使いかたが定着せず、せっかくの努力がテストに役立たないものとなってしまいます。語彙など知識事項に関しては、単に今学習している範囲の理解を深めるだけでなく、文章題の読み取りにも背景知識として生きてくるものです。新学年を直前に控えた今だからこそ、日常生活で積極的に取り入れる、あるいは家庭での話題に入れることを習慣としてとりいれてみましょう。B授業では3回の授業すべてが物語文です。きっかけや背景に注意しながら心情を理解・把握していきます。4年生最後の月、読解においては物語文の読解を完全に身につけることを目指しましょう。行動を起こす原因には必ず変化した気持ちがあり、その変化はどんなきっかけに因るものか、なぜそう感じるのか、この過程を繰り返し意識することが最重要です。家庭学習でも常に意識して取り組んでみてください。							
課題の把握と解決策	チェック1	物語文では、登場人物の行動のもととなっている気持ちに注目していますか？						チェック
	解決策	テキストの「読解メソッド」をしっかりと活用しましょう						□
	チェック2	物語文の読解の「型」がわかってきましたか？						チェック
	解決策	行動となって表れた気持ちの変化、その気持ちの変化の理由について考える習慣をつけましょう						□
	チェック3	敬語の語彙が増えてきていますか？						チェック
	解決策	文脈の中で理解することが大切です。親御さんが具体的なシーンを説明してもいいですね						□
	チェック4	語句の学習では、そのものを覚えるだけでなく「シチュエーション」を意識して覚えていますか？						チェック
	解決策	敬語以外でも、言葉がどのような場面でどのようなニュアンスで使われるかを意識しましょう						□
	チェック5	尊敬語と謙譲語を使い分けられていますか？						チェック
	解決策	「申す⇔言う⇔おっしゃる」など変換の練習をしてもいいですね						□

SAPIX	4年							
	理科							
学習内容	冬期講習3回 電気回路をつくってみよう！ 34回 スケッチをしよう！ 35回 知っている食べ物を知る（1） 36回 知っている食べ物を知る（2）							
家庭学習ポイント	34回「スケッチをしよう！」では植物と昆虫のからだのつくりを学びます。近年入試問題でも「カブトムシを裏から見ると頭・むね・はらはどのようなになっているか」「アオムシを裏から見ると足のつき方はどのようなになっているか」など出題例が増えている分野です。近年は昆虫をくわしく観察したことがないお子さんも多いですが、アプリなどで手軽に確認できるものがでています。それらを上手に活用するのもいいですね。また、「知っている食べ物を知る①②」では、食べ物の中に含まれている栄養素などを学びます。ふだんの食事の際に、「今、食べているのはその植物（動物）の体のどの部分？」など問いかけをしてみてください。近年の入試では、生活に身近なテーマに関する出題が多くなっています。身近なものにどれくらい関心や知識を持っているかを問われますので、お子さんが興味を持てるような普段の問いかけが有効です。また、スーパーでの買い物にお子さんと一緒に行くのも良い経験になります。そのままの野菜や、切り身でない一尾の魚などをお子さんに见てもらおうと良いでしょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	乾電池・豆電球のはたらきをわかりやすく説明できますか？						チェック
	解決策	（例）乾電池＝水を汲み上げるポンプ・豆電球＝水の流れを妨げる水車 など具体的だといいですね						□
	チェック2	豆電球の直列つなぎと並列つなぎの具体的なイメージを持っていますか？						チェック
	解決策	直列＝流れにくい道が長く、さらに流れにくい・並列＝流れにくい道だが広く流れやすい など						□
	チェック3	昆虫の体のつくりを実物で確認したことがありますか？						チェック
	解決策	「百聞は一見にしかず」ですが、触るのが苦手ならアプリなどを活用しましょう						□
	チェック4	切り身で食べている魚が実際にはどのような魚か知っていますか？						チェック
	解決策	ふだん食べている鮭やマグロなどを画像で検索して確認してみましょう						□
	チェック5	野菜などの共通点と相違点を意識して観察できていますか？						チェック
	解決策	同じイモでもジャガイモは茎、サツマイモは根など、表面を観察すると納得できるものです						□
SAPIX	4年							
	社会							
学習内容	冬期講習3回 工場をつくるなら？（3）～軽工業～ 34回 日本の伝統工業（1）～織物・染物・和紙・文具～ 35回 日本の伝統工業（2）～陶磁器・漆器・その他～ 36回 日本の工業の特色							
家庭学習ポイント	冬期講習会が終わり、34回、35回では「日本の伝統工業」と題して、織物・染物・和紙・文具・陶磁器・漆器などの伝統工芸品について学習します。伝統工芸品は覚えるべき数が多く、苦手意識を持つお子さんもいます。地図とあわせて問われることがほとんどなので、名前だけではなく、地図帳や白地図などを活用して場所とともに覚えるようにしましょう。名前と産地はもちろん、具体的に何を原料として、どのように作られるものなのかを知ること大切です。「もっと知りたい」や「社会の眼」といったページでは、特定の伝統工芸品の歴史的な由来について掘り下げており、5年後期に学ぶ歴史の準備となっています。どんどん活用するようにしてください。36回「日本の工業の特色」では、日本の工業の特徴や移り変わり、海外との関係などについて学習します。日本の工業の現状は、保護者の方が学生だった頃と比べると大きく異なっています。ぜひ、親子でテキストに目を通してみてください。							
課題の把握と解決策	チェック1	日本の伝統工業に関して、場所や由来などとともに学習できていますか？						チェック
	解決策	デイリーは□を埋めるだけでなく文章の内容を地図などと照らし合わせて理解するようにしましょう						□
	チェック2	問題を解いて答え合わせ、で終わっていませんか？						チェック
	解決策	「解答と解説」の裏面もしっかり読む習慣をつけましょう						□
	チェック3	日本の工業の現状について、正しく認識できていますか？						チェック
	解決策	中国が世界一の工業国ですことやアジアの国々の台頭、一方日本もまだ工業大国だという認識です						□
	チェック4	過去に習った「河川」や「平野」「各地方の特徴」などの知識があやふやになっていませんか？						チェック
	解決策	1月組分けテストには過去の地理学習内容が出題されます。あやふやになっていないか確認を						□
	チェック5	「もっと知りたい」「社会の眼」を活用していますか？						チェック
	解決策	これからの社会の学習の「前置き」のような役割もしています。ぜひ活用してください						□